

令和5年度 門真市立総合体育館 指定管理者自己評価結果

【評価対象年度】 : 令和4年度

1. 総則

指定管理者	門真市健幸づくりパートナーズ
事業期間	令和4年4月1日 ~ 令和9年3月31日
管理体制	統括責任者1名、副統括責任者(トレーニング室責任者)1名、受付責任者1名、維持管理業務責任者1名、受付職員1名、トレーニングルーム職員1名、清掃業務責任者1名、清掃業務職員2名、設備職員2~3名巡回(1回/月)
職員の勤務状況	4月~3月に6名採用/非常勤 年末年始の休館日等を除き、8:30~21:30の勤務時間帯(受付2名、トレーニング室1名)を交代制シフトにより職員を配置 ※始業前清掃は7:00~10:30の勤務時間帯に毎日3名配置

2. 施設のサービス水準

(1) 事業達成度の分析・評価

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
運営業務	開館日・時間	開館時間、午前9時から午後9時 休館日は12月29日から翌年の1月3日までの日とする 但し、指定管理が特に必要と認めるときには、門真市(以下、市)の承認を受けて休館日に開館し、又は臨時に休館することが可能	基本的には、市条例に準じて運用 市の指示・要請により開館前15分から60分に開館する場合有 市の要請により【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設を臨時休館、開館時間短縮した期間】 なし	令和4年11月7日~27日実施の「利用者向けアンケート」により、利用者から「現状(開館時間の設置85.3%、閉館時間の設定86.8%)に満足」との回答を得た
	受付・案内	安心・安全な施設運営の為、感染症予防ガイドラインを遵守 誰もが安心して施設を利用できるよう、CPR&AED研修を、全職員が定期的を受講	感染症予防対策として、オゾン発生器・二酸化炭素濃度計・自動検温システム・非接触式のキャッシュレス決済端末を導入した 全職員が公益財団法人日本スポーツ施設協会の資格認定によるAEDの取扱いを含む救急手当に関する講習を受講し資格習得の後、定期的に資格更新研修を受けることにより有事即応体制を維持した	重大事故・有責事故・クラスター等未発生、有事即応体制を維持することにより利用者の安全確保に努めた 2月中旬よりメインアリーナ床面保護の為、「移動式バスケットゴール」養生材の運用を開始した
	料金設定	門真市立総合体育館条例に基づき徴収	市条例並びに会計基準に則り、適正に徴収した(還付を含む)	市条例や会計基準に則り適正に徴収した
	広報・宣伝	分かりやすいパンフレットを作成し、常時配布できるようにするとともに、ホームページを開設し施設案内を行う他、自主事業の情報発信により利用者への適切な情報提供を行う	「広報かどま」と連動して、新聞折込みチラシの作成、オリジナルチラシの作成、配布およびホームページ掲出情報により「安全・安心な施設」の認知度向上と利用者人数の拡大に努めた	施設を設置目的に準じた施設利用案内や新たな利用者発掘の為に各種販促手法を駆使した 3月に2年ぶりとなる春季スポ・レクフェスティバルの開催に向けた広報活動として、新聞折込み、ケーブルテレビCM、市内小学校にチラシ配布を実施し、471名の参加となった

項目	内容	協定事項等	実施状況（実績値等）	達成度分析
施設維持管理業務	清掃・保守点検	自家用電気工作物、消防設備、昇降機、監視盤、熱源設備、設備全般の点検（メーカー等による保守点検）の他、月1回の巡回点検による維持管理を行う また、日常清掃・定期清掃を行う 樹木への防虫薬剤散布及び剪定作業を効果的に実施	仕様書で定めた法定点検を含む所定の検査・保守管理並びに定期清掃等を完遂し、異常・不良が発生した際には、専門業者との連携対応を行い毎年度の作業報告書に準じて実施した 防虫薬剤散布及び剪定作業を実施した（2回／6・10月）	始業前清掃（7:00～10:30）に加えて年間4回営業時間が18:00～21:00に短縮される日（6・9・12・3月の第3火曜日）と同月の第4火曜日に床面洗浄ワックスやボールプールのメンテナンスを実施するとともに、設備点検においては「移動式バスケットゴール」の点検を当初の年度計画項目と合わせて確実に実施し、施設利用者へ「安全・清潔・快適」な環境を提供した
	修繕	経常的な修繕の額として年額2,200千円（消費税及び地方消費税を含む）を指定管理料に含むこととするが、過不足があった場合は協議の上、年度毎に精算を実施	経常的な修繕の額として、年額2,200千円（消費税及び地方消費税を含む）を指定管理料に含むこととするが、過不足があった場合は、協議の上、年度毎に精算を実施した	経常的な修繕案件として12件（1,425千円）発生し、年度内に改善した未使用の修繕額（775千円）を市へ返還した

項目	内容	協定事項等	実施状況（実績値等）	達成度分析
施設利用等許可業務	利用者数・利用料金	年間利用者数目標：13万人 利用料金収入予算額：16,893千円	年間利用者数：107,303人 利用料金収入額：15,838千円	コロナ禍での大規模イベント（市関連大会等）の再開により、利用者数は回復してきているが、年間利用者数目標未達成にて着地した
	利用率	利用率の向上を図る （目標：前年度増）	令和4年度/3年度/2年度/平成31年度/30年度 メインアリーナ 92%/90%/75%/82%/76% サブアリーナ 92%/92%/80%/90%/88% 多目的スタジオ 79%/79%/65%/83%/82% 柔道場 54%/50%/36%/48%/34% 剣道場 68%/69%/55%/67%/65% 会議室1 6%/6%/2%/12%/13% 会議室2 19%/11%/5%/19%/15% クラブハウス 12%/9%/6%/14%/13% 研修室 35%/37%/9%/8%/8%	コロナ禍の影響はあるが、メインアリーナ、柔道場、会議室2、クラブハウスの利用率は前年を上回った 「会議室2」「クラブハウス」は、7月21日～8月25日夏休み期間の9時～18時において小中学生対象に「夏休み宿題やつつけタイム」として開放し、前年を上回る稼働率となる 利用人数は延べ157名であった

項目	内容	協定事項等	実施状況（実績値等）	達成度分析
自主事	子供対象	門真市の子育て環境に貢献するために、次世代を担う世代とその両親がふれあう機会として、親子参加型プログラム「親子ふれあい体操」を開催 ヒューマンプランニングによる教室開催	施設・教室講師・参加者連携のもと十分な3密対策に努め、「チアダンス」「パドミントン」「卓球」「体操」「キッズダンス」「バスケットボール」「クラシックバレエ」を展開した 大阪エベッサアカデミー校長による「バスケットボールクリニック」を展開した	感染症対策を徹底したうえで開催し、19教室137名の登録者を獲得した 9月のバスケットボールクリニックでは、小学生対象に39名が参加した
	若年層対象	市民の健康維持・ストレス発散等を目的に、「体幹トレーニング」「ピラティス」「レズミルズプログラム」等を開催	同上3密対策に努め、「バランスボール」「コアピラティス」「やさしいピラティス」「ヨガ&ストレッチボール」「オリジナルケア」「やさしいエアロ」レズミルズプログラムの「ボディジャム」「ボディバランス」を展開した	感染症対策を徹底したうえで開催し、8教室83名の登録者を獲得した

【様式第1号】
(指定管理者記入様式)

業	中高年対象	「肩こり腰痛予防教室」「太極拳教室」等を実施 卓球教室・大会の開催	同上3密対策に努め、「バドミントン」「卓球」「バウンドテニス」「太極拳」「ハワイアンフラ」「楽しくヨガ」に加え、「初めての大人のジャズダンス」を新たに展開した 関西地区合同の卓球交流会を開催した	感染症対策を徹底したうえで開催し、14教室152名の登録者を獲得した 6月と11月に教室参加者対象の卓球交流会に延べ12名が参加した
	高齢者対象	NPO法人ボディアライアンスと連携にて「健康運動教室」を開催	同上3密対策を徹底し、「ろっ骨エクササイズカキラ」「健康体操」「さわやか健康体操」「ひめトレ&体幹トレーニング」「ヨガストレッチ」 ※総合型スポーツクラブ賛助事業「医療連携いきいきサポート運動教室」をサポートした	感染症対策を徹底したうえで開催し、5教室90名の登録者を獲得した ※「医療連携いきいきサポート運動教室」の参加者拡大に貢献した

項目	内容	協定事項等	実施状況（実績値等）	達成度分析
その他	「体育館設置目的」実現に向けた「活動方針」に準じた取り組み	「門真はすねクラブ(総合型地域スポーツクラブ)」との密接な連携	クラブマネジャーの助言を踏まえ市民ニーズに即した自主事業を実施するとともに、総合型地域スポーツクラブの仕組みを活用並びに拡充し、市民にとって魅力的なクラブとなるようその発展に対する支援を全力で行った	3月に2年ぶりとなる「2023かどま市春季スポ・レクフェスティバル」を同クラブと協同連携し、471名の参加があった 同クラブ賛助事業「医療連携いきいきサポート運動教室」「田村裕プロデュース・大人のバスケ教室」の計60回の開講、継続化に貢献した
	職員研修	研修内容オンライン配信を活用した研修とOFFJT・OJTを実施	全職員が基礎ライセンス制度に応じた個々の職能スキルを発揮し「安全・清潔・快適な」運営に努めた	有責事故及び重大クレームともに未発生 更なる利用者満足に繋がるよう取り組む
	個人情報保護	プライバシーマーク取得企業として、厳重な管理を行う	全職員に定期的にオンラインにて個人情報保護理解度テストを実施し、勤続年数に関わりなく常に厳正厳格な取扱いに努めた	コンプライアンス遵守教育を継続的に実施し、個人情報に係るトラブル、苦情等一切なし
	情報公開	市条例等に準じた情報公開に対応	情報公開請求無し	今後とも市の諸条例に準じて、適正な対応に努める
	緊急対応	防犯・防災・安全対策	毎月17日の「安全の日」をはじめ、3ヶ月毎のメンテナンス日に安全研修、有事対応訓練、施設・設備・備品等の点検等を実施し、火災、地震、台風のみならず新型コロナウイルス感染症等発生時に市の主管部署と連携のもと地域の「防災拠点」として即応し得る体制の維持、継続に努めた 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止策としては、3密対策を徹底し、飛沫防止の仕切りを受付・トレーニングルーム内のマシン間に設置と各居室に消毒液を設置し、24時間換気を徹底した	「予防第一の原則」を基軸とし、如何に想定外事象を発見しスピードをもって対処し得る「体制」を維持した 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止策として、次の対策を実施した ・施設入口を含め各居室に計40本の消毒液を整備し、受付・トレーニングルーム内のマシン間に飛沫防止用の仕切りを設置した ・受付時の施設利用チェックリストをもとに相互確認を行った ・全館24時間換気を徹底した

事業達成度評価 コメント

令和4年度はコロナ禍の影響により、年間「利用者数」「利用料金」ともに目標、予算を下回る結果となる
利用率はメインアリーナ、柔道場、会議室2、クラブハウスは前年を上回る結果となる
自主事業は、幅広い年齢層に対応した各種教室を提供し、48教室(前年:46教室)462名(前年:439名)の登録者を獲得した
3月に2年ぶりに開催した「春季スポ・レクフェスティバル」は、総合型地域スポーツクラブとの協同連携とともに年間を通じて同クラブの各種賛助事業の開催、継続化に貢献した

事業達成度評価

A

凡例：事業達成度評価の区分

- A：協定事項等に定める水準を上回っている
- B：協定事項等に定める水準と同程度である
- C：協定事項等に定める水準を満たすことができなかった

(2) 利用者満足度の分析・評価

項目		回答結果・対応状況		分析
1 利用者アンケート調査	実施方法 回答者数	フロント前に備え付けたアンケート回収箱により回答用紙を収集及び集約した…回答者数：355名		
	施設・設備の充実度	満足 128名 36.1% やや満足 154名 43.4% 普通 69名 19.5% やや不満 1名 0.3% 不満 0名 0% (無回答 3名 0.7%)	「満足／やや満足含む」の方が282名と79.5%を占め、大半の方が満足頂いていると判断 今後も継続的に定期設備、機器点検の実施により「安全、清潔、快適」な施設運営に努める	
	施設の利用のしやすさ	満足 119名 33.6% やや満足 131名 37.0% 普通 96名 27.1% やや不満 1名 0.3% 不満 0名 0.0% (無回答 8名 2.0%)	「満足／やや満足含む」の方が250名と70.6%を占め、大半の方が満足頂いていると判断 引き続き利用者の利便性の向上を図る	
	職員の対応・態度	満足 98名 27.7% やや満足 156名 44.0% 普通 69名 19.5% やや不満 4名 1.2% 不満 1名 0.3% (無回答 27名 7.3%)	「満足／やや満足含む」の方が254名と71.7%を占め、大半の方が満足頂いていると判断 接客接遇研修の継続実施により「笑顔溢れるさわやかスタッフ」育成に努める	
	利用料金	満足 127名 35.8% やや満足 140名 39.5% 普通 81名 22.9% やや不満 4名 1.2% 不満 0名 0.0% (無回答 3名 0.6%)	「満足／やや満足含む」の方が267名と75.3%を占め、大半の方が満足頂いていると判断 今後も更なるサービス品質の向上に努める	
	利用時間	満足 141名 40.0% やや満足 160名 45.1% 普通 49名 13.9% やや不満 2名 0.6% 不満 0名 0% (無回答 3名 0.4%)	「満足／やや満足含む」の方が301名と85.1%を占め、大半の方が満足頂いていると判断 今後も継続して既存の開閉館時間並びに時間枠においてサービス品質の向上に努める	
	実施事業の充実度	満足 125名 35.3% やや満足 105名 30.0% 普通 49名 13.9% やや不満 0名 0.0% 不満 0名 0.0% (無回答 76名 20.8%)	「満足／やや満足含む」の方が、230名と65.3%を占め、「無回答」の方が、76名と20.8%を占めており、実施事業の「充実度」向上及び「販促手法」の更なる工夫により参加者数の拡大を目指す	
	2. 市民等からの意見・要望等	主な意見・要望等の内容		対応状況等
飲食スペースでの会話の声が大きく、気が散って運動出来ない		共有スペースでは周りの方へのご配慮とともにご予約の居室内にて会話をしていただくようお願いし、ご理解をいただいた		
面割ネットの網目からピン球がすり抜けてしまうので、網目の小さいものを設置してほしい		サブアリーナの面割ネットに網目の小さいネットを設置し、利用者の利便性向上を図った		
大会開催日における開館前の駐輪場マナーについて		大会開催日は、開館前にスタッフによる駐輪場の混雑状況の確認とともに必要に応じて大会主催者に来場者誘導の協力を求めた		
小・中学生が廊下に寝ころび、靴棚に乗り上がり危ないので、随時注意してほしい		他の利用者への迷惑行為・危険行為について施設内巡回スタッフによる小・中学生への注意喚起を継続した		
グラウンド使用の方が使える駐車場を開放してほしい		グラウンド専用駐車場の駐車不可の案内とともに当施設北側駐車場満車の場合は、近隣コインパーキングへの駐車案内を掲示した		

利用者満足度評価 コメント

11月7日～11月27日の期間において、利用者にアンケート協力をいただき355件(前年424件)の回答を集計した結果、総じて大半の方が「満足/やや満足含む」の評価となった
 市民からの意見・要望等は、利用者のマナーに対する内容が多くあり、利用者同士がストレスなく快適に利用できる
 ように利用者・各団体にご理解とご協力を求めることを継続した
 サブアリーナの面割ネットに網目の小さいネットを設置することにより、利用者の利便性向上に繋がった

(3) 収支状況の分析・評価

収入の部

(単位：千円)

		予算額	実績額	実績 - 予算	備考
委託料		62,989	62,989	0	
利用料金等	施設利用料	16,893	15,838	-1,055	新型コロナウイルス感染症の影響
	事業収入	2,420	16,657	14,237	※予算額は自主事業収入の一部を充当
	雑入 門真市指定管理 施設物価高騰対 策支援金	1,430	4,602	3,172	支援金：3,932千円含む
収入合計		83,732	100,086	16,354	

支出の部

(単位：千円)

大項目	小項目	予算額	実績額	予算 - 実績	備考
人件費	給与費	26,948	31,380	-4,432	「給与費」前年度(実績額 29,004千円)に対して +2,376千円 ※前年度予算額 25,671千円 「賃金等」自主事業に係る講師料含む
	福利厚生費	0	0	0	
	法定福利費	2,014	3,973	-1,959	
	賃金等	10,240	11,304	-1,064	
事務費	印刷費	1,100	923	177	
	通信費	275	257	18	
	保険料	177	128	49	
	事務用品費	770	688	82	
	旅費交通費	33	4	29	
	賃借料	1,258	850	408	
管理費	業務委託費	20,937	20,665	272	
	光熱水費	11,892	12,608	-716	
	修繕費	2,200	1,425	775	
	燃料費	0	0	0	
物件費	備品購入費	33	382	-349	
事業費	事業費	575	903	-328	
公租公課	租税公課	5	6	-1	

【様式第1号】
(指定管理者記入様式)

一般管理費	管理費	5,275	6,305	-1,030	管理運営に係る本社経費
支出合計		83,732	91,801	-8,069	

収支（実績ベース）

100,086 - 91,801 = 8,285

収支状況評価コメント

取入面では、新型コロナウイルス感染症の影響で、施設利用料は予算未達となった
支出面では、新型コロナウイルス感染症対策として館内全扉開放による光熱水費の増加や感染症予防対策としてのオゾン発生器・二酸化炭素濃度計・自動検温システム・非接触式のキャッシュレス決済端末導入に係る備品購入のため予算を上回った